

ようついついかんぱん
『腰椎椎間板ヘルニアについて』



宮本達也 脳神経外科医長

椎間板ヘルニアとは、背骨の間でクッションの働きをしている椎間板が、後方に突出し、それが神経を圧迫することによって起こります(図1)。

腰椎椎間板ヘルニアになると腰やお尻の辺りが痛み、足にしびれや痛みを伴うこともあります。診断は、レントゲンやMRI検査によって行います。治療は、安静・コルセット着用・鎮痛剤等の内服薬・湿布や坐薬(ざやく)等の外用薬・神経ブロック注射・リハビリ等があり、7割ほどの方は3ヶ月の経過で症状が改善します。しかし、足の痛みが重度であったり、足の力が入りにくくなったりした場合には手術を考える必要があります。

私が医師になったころは、大きく腰部を切開する手術が主流でしたが、徐々に患者さんの負担の少ない治療法が選択されるようになってきています。和歌山でも一部の病院では、1cm以下の傷で手術が受けられます。症状に心当たりのある方は、一度ご相談ください。



(図1)

口腔ケアへの取り組み

体力や抵抗力が弱っている高齢者にとって、口の中の細菌は大敵であり、口腔ケアは全身の健康や精神面にまで影響を及ぼします。

入院患者さんに清潔な口腔状態を維持してもらい、少しでも快適な入院生活を送っていただけるようなケアを提供するため、歯科医や歯科衛生士に指導を受けています。



皮膚科のご案内

かぶれ・湿疹・じんましん・にきび
イボ・やけど・水虫・巻き爪・うおのめ など
年齢問わず、皮膚の事でお困りでしたら、一度ご相談ください。

毎週木曜日 10:00~12:00(受付11:30まで)
14:00~17:00(受付16:30まで)



●第2回さくら健康教室 市民公開講座開催 (平成30年9月8日)

前回は病院内で開催した健康教室ですが、今回は場所を文化福祉センターに移し、和歌山県立医科大学の腎臓内科講師 大矢昌樹先生による特別講演『高血圧と腎臓～あなたの腎臓は悲鳴をあげていない?～』をはじめ、健康チェックや栄養・運動教室などを行いました。

当日はあいにくの雨模様で足元の悪いなか50名以上の参加があり、メモを取りながら熱心に講演を聞いている姿も見られました。

今後もこのようなイベントを通して、健康に関する情報発信を行っていききたいと思います。

次回は年明けを予定しています。

(於:有田市文化福祉センター)



●介護支援専門員合同勉強会

(平成30年8月24日)

有田地域の医療・介護の連携をより良くするために、互いの知識向上や情報の共有を目的に合同勉強会を開催しました。

介護支援専門員の方々との連携を密にし、地域の在宅医療に貢献できる病院を目指していききたいと思います。



●第39回病院協会ソフトボール大会

(平成30年9月2日 於:明恵の里スポーツ公園)

和歌山県病院協会主催のソフトボール大会海南・有田地区予選に参加しました。

結果は残念でしたが普段は関わりの少ない部署やスタッフも一致団結して取り組み、チームワーク向上につながったと思います。



新入職員紹介



にしうら まさき
西浦 雅喜
リハビリテーション科
言語聴覚士
(入職日 平成30年5月16日)

まだまだ未熟な点も多いですが、先輩方からの指導を仰ぎつつ業務に励んでいます。私は「話す、食べる」という当たり前の楽しさを、一人でも多くの患者さんと共有できる言語聴覚士を目指します。

●病棟行事「敬老会」

(平成30年9月25日)

入院患者さん13名が参加し、敬老会を行いました。懐かしい歌を歌ったり、ボウリングで体を動かしたりして楽しんでいただきました。

